

令和8年度 入学者教育課程表

A 表

(表面)

第1学年の
学級数

1

教育局 オホーツク

北海道興部高等学校

全日制課程

学科 普通科

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年		2 年		3 年		計		
					基礎教養	発展教養	基礎教養	発展教養	基礎教養	発展教養	
国語	現代の国語	2	2							2	2
	言語文化	2	2							2	2
	論理国語	4		2	2	2	2			4	4
	文学国語	4									
	国語表現	4		2	2	2	2			4	4
	古典探究	4									
	○古典研究	2					2	2		0~2	0~2
地理歴史	地理総合	2				2	2			2	2
	地理探究	3					-2		-2		
	歴史総合	2		2	2					2	2
	日本史探究	3						4			0~4
	世界史探究	3									
公民	公共倫理	2	2							2	2
	政治・経済	2							-4		
		2				2	2			2	2
数学	数学Ⅰ	3	3							3	3
	数学Ⅱ	4		3	3	3	3			6	6
	数学Ⅲ	3					3		3	0~3	0~3
	数学A	2	2							2	2
	数学B	2			2						2
	数学C	2				2		2		0~2	0~2
	○発展数学	2					3		3	0~3	0~3
理科	科学と人間生活	2		2						2	
	物理基礎	2			2						0~2
	物理	4							4		0~4
	化学基礎	2			2						2
	化学	4							-2		
	生物基礎	2	3							3	3
	生物	4							4		0~4
	地学基礎	2			2						0~2
保健体育	体育	7~8	3	3	3	2		2		8	8
	保健	2	1	1	1					2	2
	○生涯スポーツ	2					2		2	0~2	0~2
芸術	音楽Ⅰ	2	2							2	2
	音楽Ⅱ	2		2	2					2	2
	音楽Ⅲ	2									
	美術Ⅰ	2									
	美術Ⅱ	2									
	美術Ⅲ	2									
	工芸Ⅰ	2						-3		-3	
	工芸Ⅱ	2									
	工芸Ⅲ	2									
	書道Ⅰ	2									
	書道Ⅱ	2									
	書道Ⅲ	2									
	○音楽表現	2					2		2		0~2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4							4	4
	英語コミュニケーションⅡ	4		3	3	3		3		6	6
	英語コミュニケーションⅢ	4									
	論理・表現Ⅰ	2			2						2
	論理・表現Ⅱ	2					3		3	0~3	0~3
	論理・表現Ⅲ	2									
家庭	家庭基礎	2									
	家庭総合	4	2	2	2					4	4

A 表

(裏面)

北海道興部高等学校	全日制課程	学科	普通科
-----------	-------	----	-----

教科	学年		1年		2年		3年		計	
	科目・標準単位数	類型			基礎教養	発展教養	基礎教養	発展教養	基礎教養	発展教養
情報	情報 I	2	2						2	2
	情報 II	2								
理数	理数探究基礎	1					-3		-3	
	理数探究	2~5								
商業	ビジネス基礎	2~4		4					4	
	ビジネス・コミュニケーション	2~4		2					2	
	簿記	2~4				4			4	
家庭	フードデザイン	2~8					3		3	0~3
	生活教養	1					1		1	0~1
○教員基礎	○教員基礎	1		1	1				0~1	0~1
各学科に共通する各教科・科目の計			28	22	28	20~24	24~28	70~74	80~84	
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0	6	0	4~8	0~4	10~14	0~4	
学校設定教科に関する科目の計			0	0~1	0~1	0	0	0~1	0~1	
総合的な探究の時間			3~6	1	1	1	1	3	3	
合計			29	29~30	29~30	29	29	87~88	87~88	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	3	3	
教育課程に係るその他の事項										
卒業までに修得させる単位数			74 単位			卒業に必要な履修と修得の単位数		○ 1 分離している 2 分離していない		
学期の区分			○ 1 3学期制 2 2学期制		学期の区分ごとの単位修得の認定		○ 1 実施している 2 実施していない			
1 単位時間の弾力化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他 ()							
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (①・③・④) 2 実施していない							
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。							
備考			物理は該当基礎科目を履修した者のみ履修することができる。 論理・表現IIは論理・表現Iを履修した者のみ履修することができる。							

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。